【平成24年度】各会場での主な意見・要望等

4　早修・中島・佐八地区

《早修小学校保護者》(6/21)

- 緊急時の迎え、登下校時に災害が発生した場合などを考えても現在の早修小の方が安全に避難できると思う。
- スクールバスが実施された時の授業などのイメージがわかない。
- 教育委員会と同じテーブルで話し合いができたので良い機会だったと思う。また、こういう機会を何度も作っていただきたい。
- アンケート結果を見ても統合が決まったのなら早修にしてほしいという意見が多かった。統合についてはみんなが納得できるようにしてほしい。
- 統合について、どういった問題が出てきたか、良いことばかりでなくデメリットも教えてほしい。
- 中島小は、津波や豪雨の際に不安である。もっと情報収集をしながら決めていただきたい。
- 学校で災害が起きた時に、より安全な所で、というのが親の気持ちである。
- この辺の洪水時の避難場所は宮川中や山高（宇治山田高校）となっている。早修小は山高に避難するが、中島小はどこへ避難するのか。
- 宮川中と沼木中との統合はいつ頃を予定しているのか。

《中島小学校保護者》(6/13)

- なぜ、統合しなければいけないのかと思う。経済的な視点では理解するが、子どもからの視点では納得できない。
- 統合した場合に具体的にどうなるのか、といった話をしてほしい。
- （宮川中に統合になるなら）沼木中からの通学手段の確保はどうするのか。
- 早修小、佐八小はどう考えているのか。
- 中学校は統合すると何人くらいの生徒数になって、どのくらいのクラス数になるのか。
- 統合した場合、中島小の子どもたちや保護者にはどのようなデメリットがあるのか。

《佐八小学校保護者》

(5/21)

- 統合についてあまり周知されていないと思うので、保護者、地域の人を集めて大きな説明会を開いてほしい。
- 親は賛成となると思うが、自治会は愛着が強い。PTAの意見が尊重されるのか、自治会の方が尊重されるのか。

(5/25)

- 県道伊勢南島線の安全対策について進んでいないのではないか。
- 三郷山に校舎を建設すればいいのではないか。

(9/14)

- ＰＴＡから反対の声が多くあがってきた時、このプランはどう動くのか。
- なぜ中島小学校なのか。
- 中島小学校は災害時孤立することはないのか。家まで帰れないのではないか。通学路で水につかるところが多いので。最悪のことを考えて学校の位置を考えてほしい。
- 緊急時保護者が迎えに行きにくいのでは。
- 早修小学校の増設の案のほうが近くてよいのでは。
- 立地条件は、佐八地区は高い位置にあるので、災害に対する意見が多くなっている。人員的なキャパシティーや予算の問題は理解できるが、佐八は海抜 16m。例え 16mの津波がきても裏山が 47mあり５分もあれば避難できる。予算のこともあるかと思うが用地確保してもらいたい。子どもの命を考えてほしい。一番大切なのは命。高台へ建設がよいのでは。もう一度考えていただきたい。
- 津波だけでなく、宮川の決壊を心配している。ダブルできた場合どうすどうするのか。子どもを助けにいけない状態で、児童だけでなく地域住民も避難してくる中、子どもたちは避難できないのでは。地域のメリットを考えて新しいところへ学校をという考えはどうか。
- 中島小が高いといっても、行き止まりの屋上へ逃げるのと、高い裏山に逃げられるというのでは、安心感が異なるのでは。最初から危険を避けるべきなのでは。
- 上野小学校の統合はなくなってしまったのか。

《宮川地区幼稚園・保育所保護者》

(6/27)

・　保護者は、子どもがいるので現状を理解できるが、自治会は慎重かつ十分な説明をしてもらわないと、保護者とお年寄りと意見に差が出る。

《早修地区自治会・各自治会》

(7/23)

・　ある程度の規模がないと(学校運営が)困難だというのはわかるので、やむを得ない統合である。
・　中島小の位置は低いのでは。1人1人の気持ちを聞いてもらって、納得してもらえるように。
・　色々あると思うが、不満が出ないように気持ちよく統合できるような状態にしてほしい。

《中島地区自治会・各自治会》(6/16)

・　自治会としては大きな問題になる点はないと考えている。

《中島学区町会長会議》(3/16)

・　統合は沼木中の生徒数減少により仕方がない面があるが、宮川中は現時点で何も支障がない。対等統合と言うが廃校にしないといけない理由が理解できない。
・　豊浜中・北浜中は規模も良く似ており、統合しても適正規模に満たないが、緊急性もあるので理解できる。御薗中・港中、倉田山中・五十鈴中も理解できる。宮川中・沼木中は規模も全く違うので対等の統合とはいえない。ケースバイケースである。
・　自分の卒業した小学校や中学校は統合して現在無くなっている。統合で学校がなくなっていくのは理解できる。
・　今まで「対等の統合」と言うことを聞いていなかったので、何の問題も感じていなかったが、宮川中学校も廃校となると話は違う。
・　6月に説明を受けた時は、両校を尊重して「対等の統合」と言うことを聞いていたが、現実には対等の統合ではない。
・　人数が少なくなったから大きな学校にという話をするのではなく、生徒数が少ないところは授業が成り立ちにくくなり廃校せざるを得ないと言うことを行政がきちんと説明して、大きな学校に行ってもらうと言う事を理解してもらうことが必要である。そのために通学手段を確保するなどの手立てをきちんとするようにすることが必要である。
・　宮川中と沼木中を統合してもいずれ230人くらいになって、今統合して新しい校舎を立ててもまた厚生と統合という話になる。伊勢市全体を見て教育委員会はどのようなビジョンを持っているのか。拠点校はどのように考えているのか。何も考えていないのではないか。一度持ち帰ってハイレベルな判断をしてもらいたい。情報はもう少しタイムリーにほしい。
・　平成25年度、南島線沿いのスクールバスを出すということだが、保護者への連絡はしているのか。あまり期間がないと思うが。
・　新しい校舎を建てるのであれば防災面でこのようにしてほしいという希望もあるので相談をお願いしたい。

《佐八地区自治会・各自治会》

(6/15、6/29、7/20)

- 中学校に関しては沼木中の人は遠くなるのではないか。(自治会)
- 新しくできた堤防は通学路に使えないのか。(自治会)
- 県道伊勢南島線は住宅が並んでいるので、用地買収をしない限り拡幅されない。堤防は絶対に道路にならないということは決まっていないらしいので、これから伊勢市がどうしてほしいかを県に対してはっきり言ってほしい。それまでは、次善の策としてバスを利用したり、知恵を出し合ったりしたら良い。(うぐいす台)
- 通学手段としてスクールバスが出た場合、一斉下校になるのか、2回くらいに分けて下校することになるのか。(うぐいす台)
- 統合を見込んで住所を移しているというのを聞いた。限界集落が増えるのではないか。限界集落の問題をどう考えているのか。(うぐいす台)
- 通学におかげバスを走らせることはできないのか。同じ市のお金を使うのだからうまく弾力的に使えないのか。(うぐいす台)
- 佐八小は田植えや稲刈りなど特徴のある教育をしている。統合しても特色を生かして、子どもが自然とふれ合えるようなことを考えてほしい。

《佐八町自治会》(9/23)

- 統合は決定事項なのか。
- 統合の組合せとして、佐八小は早修小、中島小との組合せとなっているが、当初は、佐八小は上野小との統合を予定していたのではないか。上野小学校区の意見はどうか。
- なぜ統合場所が中島小に決まったのか。
- 現在も佐八小校区の通学路は非常に危険な箇所がたくさんある。特に県道の整備を進めてから学校の統合の話をすべきでないのか。
- 津波や洪水時に関しては、佐八小の方が標高も高く安全だと思う。中島小は安全なのか。佐八小校区は、洪水時に陸の孤島になりやすいので、緊急時に子どもたちを迎えにいけなくなる。その対処も考えているのか。
- 佐八小は少人数で、大きな学校と統合すれば、地域性の違い等からいじめが起きないか心配である。この地域で育った保護者の立場からは、中学校に入学の際に地域性の違いを実感している。
- なぜ高台の新たな場所に学校を建設しないのか。宮川中に隣接する、三郷山には広い土地がある。
- 昨年の東日本大震災以降、沿岸部から企業や住民が内陸部の高台に移住し始めている。先々の人口動態を考えれば、これから佐八地区でも人口が増えてくる見込みがあるのではないか。沿岸部の地価も下落している。
- Q&A の Q８についての A８で「学校または学級が集団として一定の大きさを持つことにより、学習やスポーツ面においても子どもたちの可能性を伸ばすことができると考えています。」とあるが、学校が大きくなれば、教師の負担や苦労も比例して大きくなると思うがどうか。
- 現実問題としては、ここまで少子化が進めば学校の統合はやむを得ないと思う。この地域では、上野小もこの先も更に小規模になっていくのが見えているので、この際に統合した方が良いと思う。

《津村町自治会》(11/11)

- 計画案のスケジュールでは、３校が統合する時期について詳細に示されていないが、いつの統合を予定しているのか。
- 将来人口の推計値では、今後も減少傾向が続くとされているが、今の時期が底なのではないかと思う。倉田山中と五十鈴中が統合したらマンモス校になると思うが、適正規模を上回ってしまい矛盾した話ではないか。
- 統合を進める中で、市の財源の方の話は出ていないが大丈夫なのか。
- 学校の規模が大きくなると、いじめや不登校の問題も多くなると思う。今の先生は、夏休みも取れない、日々も業務に追われて多忙な毎日を送っている。このような状況で、子どもと関わる時間が取れるのか。
- 佐八小は、なぜ早修小、中島小の２校との統合になったのか。
- 中島小は、防災面で不安がある。津波浸水は無いとしても、宮川の洪水時に危険ではないか。中島小校舎はキャパシティがあるかもしれないが、敷地は狭小で、かつ、周囲の道路全てで幅員が小さい。環境としては良くないのではないか。
- 佐八小学校区から中島小へ通学することは、危険なところへ通うというイメージがある。「通学途上で何か起きれば」と思うと通わせたくないと考える。
- 中島小に関して、津波浸水は心配ないと思う。しかし、中島地区はその地名からも河川の土砂が堆積した場所であるため、地震に対して液状化する恐れがあると思われる。中島小校舎は倒壊しないとしても、周辺の密集した住宅地で住宅やブロック塀が倒壊した際には、避難経路の確保もままならない状況になると思われる。もし、火災等が起きれば密集市街地なので延焼も心配である。中島小を統合場所とする場合、このようなことも選定条件の大きな要素となるのではないか。
- 佐八小学校区において、そもそもバス通学をせざるを得ない状況は特殊なことではないか。また、市の経費負担が３分の１というのも納得がいかない。統合して、佐八小学校区が全額市の負担で全員バス通学となるとするなら、それを前倒しして今年度からでも全額負担すべきではないか。こういった場で、毎回早急に対応が必要といわれている県道伊勢南島線の通学路問題については未だに解決されていない。県道伊勢南島線の朝夕交通量の多い時間帯に自転車通学させるのは心配でならない。中学校はバスで通学させたくてもバス代が高くて、３分の１の助成では親の負担が大き過ぎるので全額補助にすべきである。
- 伊勢市都市計画では、津村町も都市計画区域内となっており、都市計画税も納税しているので、都市計画施設に係る整備については、市内どの地域に住んでいても不均衡が生じないようにすべきである。以前から県道伊勢南島線の通学の危険性は指摘されていることで、早急の対応が必要ではないか。
- 現在市内 24 小学校区単位で、地区みらい会議の立ち上げが進められている。既にいくつかの地域では活動を始めており、この地区においても準備会設立に向けて準備をしているところであるが、小学校の統廃合が進めば小学校単位という括りが薄らいでいくのではないか。その辺りの事業とは整合が取れているのか。
- 統合すれば、子どもたちにとって多くの仲間と出会う機会ができ、その中で育つのが良いと思う。（教育論は理解できる。）